

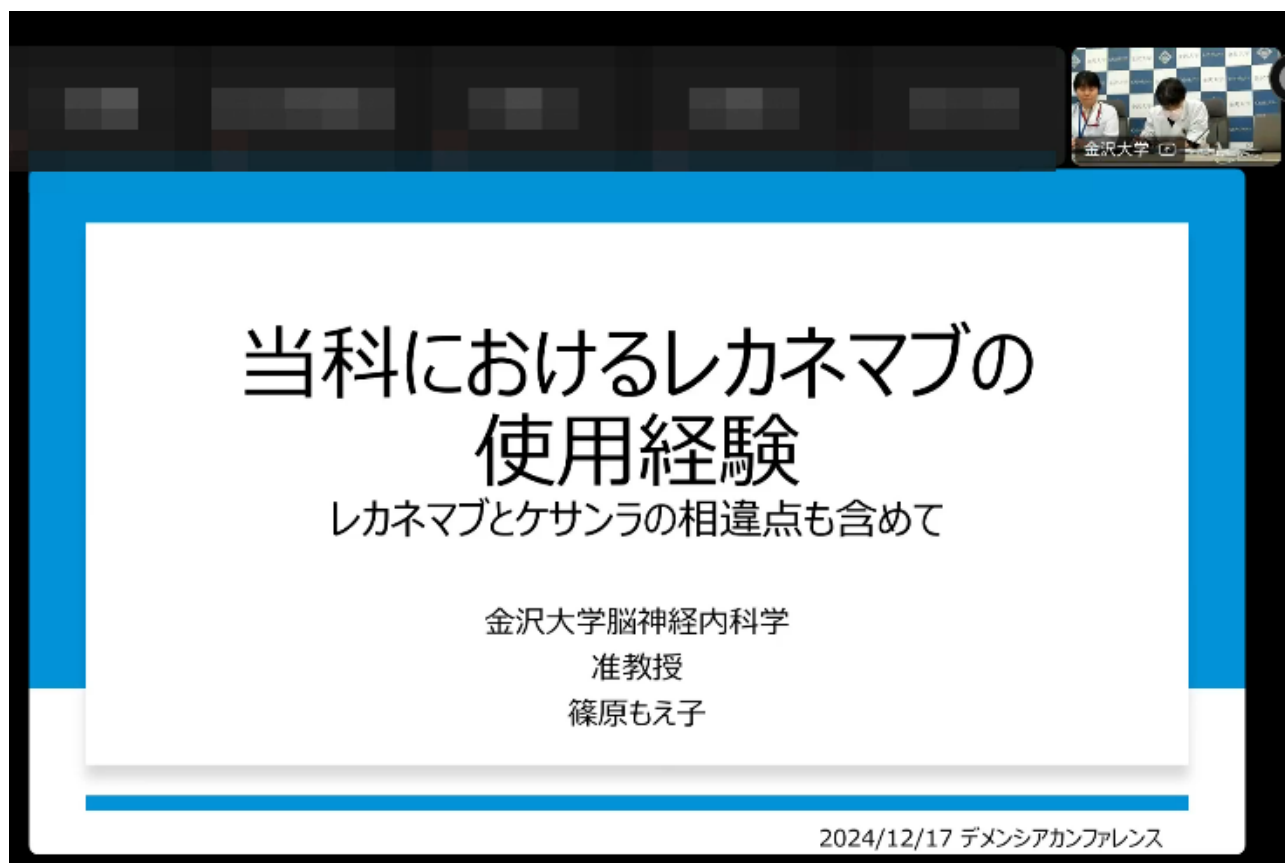
第107回デメンシアカンファレンスを開催

2024年12月17日

12月17日（火）に金沢大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）「第107回デメンシアカンファレンス」をWeb上で開催しました。

「当科におけるレカネマブの使用経験」のタイトルで、金沢大学からの症例報告で進められ、活発に質疑応答や意見交換が行われました。

症例発表の様子とスライド



当科におけるレカネマブの
使用経験
レカネマブとケサンラの相違点も含めて

金沢大学脳神経内科学
准教授
篠原もえ子

2024/12/17 デメンシアカンファレンス

第 107 回デメンシアカンファレンス 報告要旨

『当科におけるレカネマブの使用経験』

発表者：篠原もえ子（金沢大学医薬保健研究域医学系脳神経内科学）

司 会：小松潤史（金沢大学附属病院脳神経内科）

【要 旨】

2023 年 12 月、レカネマブ（抗アミロイド β 抗体薬）がわが国の臨床現場で早期アルツハイマー病の患者に使用可能となった。金沢大学附属病院脳神経内科では、2024 年 1 月より早期アルツハイマー病治療外来を設けて、レカネマブ治療を希望される患者さんの診療を行っている。11 月末までにおよそ 120 名が早期アルツハイマー病治療外来を受診し、約半数にあたる 63 名についてレカネマブ治療を導入した。

レカネマブ治療においては適応判断のため、治療前に頭部 MRI、アミロイド病理を確認する検査（アミロイド PET または脳脊髄液アミロイド β 42/40 比測定）が必須であり、結果次第ではレカネマブ治療対象とならない場合がある。さらに、アポリポ蛋白 E 遺伝子 ϵ 4 ホモ接合体を有する患者では、アミロイド関連画像異常（ARIA）が多いことや抗血小板薬／抗凝固薬との併用が慎重投与とされていることから、治療導入するかどうかの判断に悩むことも多い。

さらに、2024 年 11 月にはわが国第 2 剤目の抗アミロイド β 抗体薬であるドナネマブの保険診療が開始となり、金沢大学附属病院では 11 月 29 日に全国第一例目の投与を実施した。本カンファレンスでは、金沢大学附属病院の早期アルツハイマー病治療外来に関して、治療前の検査、治療導入、外来点滴といった診療フローと、治療効果や副作用の状況、及び 6 か月目以降の連携施設も含めて紹介した。

【質問・意見】

質問：抗アミロイド β 抗体薬治療で生じた ARIA-H と脳アミロイドアンギオパチーによって自然発生した微小出血を頭部 MRI 所見で見分けることはできるのか？

回答：MRI 所見上は区別困難だが、抗体薬治療中に微小出血が著増する場合は適正使用ガイドラインに沿って一時休薬するなどの処置が必要と考える。



北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)

第107回デメンシアカンファレンス(Web)

2024年12月17日(火) 18:30~

「当科におけるレカネマブの使用経験」

発表者：金沢大学医薬保健研究域医学系脳神経内科学
篠原もえ子

担当：金沢大学

対象：認プロ参加施設及びその他の施設の
医療関係者（医療系大学の学生含む）

【参加方法】

個人のパソコンからWeb会議システム(WebEX)を使用

- ・教育コース履修者、メディカルスタッフe-learning講座の登録者、認プロ参加施設の各委員・事務担当者には、事前に北陸認プロ運営事務局からメールで参加案内をお送りします。案内状のメールに従って会議にご参加下さい。
- ・教育コース履修者の出席はオンライン画面にて北陸認プロ運営事務局が確認します。
- ・上記以外で参加を希望される方は12月16日までに氏名とメールアドレスを北陸認プロ運営事務局までお知らせください。
(ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp)

【お問い合わせ先】

北陸認プロ運営事務局 〒920-8640 金沢市宝町13番1号

TEL:076-265-2149 FAX:076-234-4208 E-mail:ninpro@adm.kanazawa-.ac.jp

URL:<http://ninpro.jp/>